

DynaEye 11

自治体テンプレート定義

導入手順書

2022年9月 第1.0版

株式会社PFU

目次

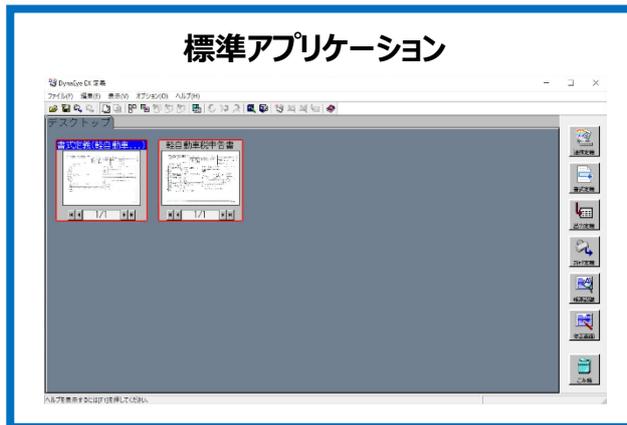
はじめに	2
1. 対象帳票.....	3
2. 書式定義の使用方法	4
2.1. 書式定義の動作確認	4
2.2. 書式定義をお客様帳票に合わせてカスタマイズ.....	8

はじめに

DynaEye 11 は、以下に示す 2 種類のアプリケーションを搭載しています。
自治体テンプレート定義は、【標準アプリケーション】でのみ使用可能です。
また、本定義を利用いただく場合は、【以下の AI-OCR 版製品】が必要です。ご注意ください。

- DynaEye 11 Entry AI-OCR
- DynaEye 11 SDK AI-OCR

自治体テンプレート定義の対象



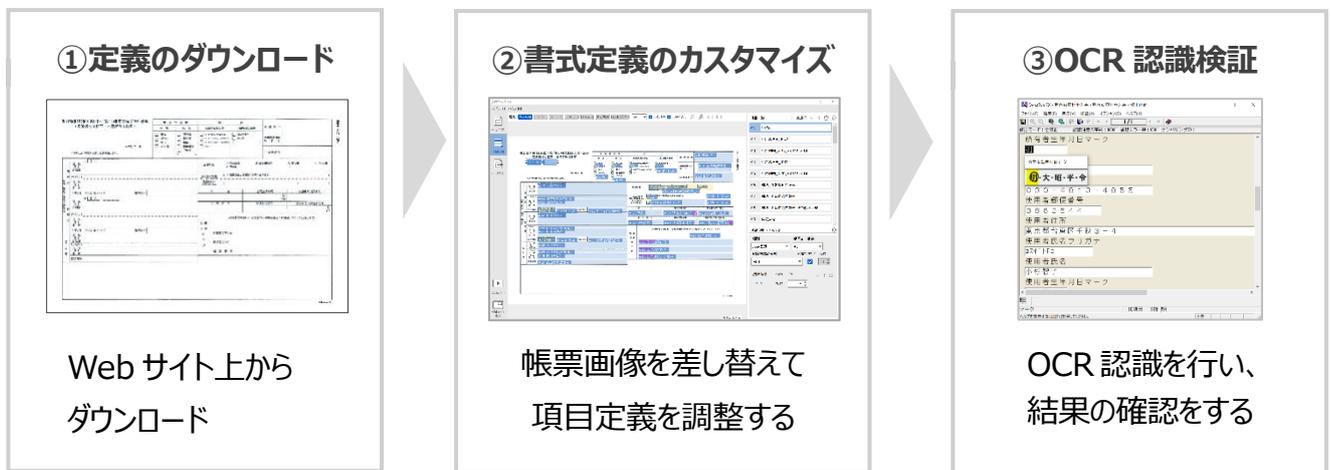
エントリーアプリケーション



「自治体テンプレート定義」は、自治体帳票を OCR するための書式定義サンプルです。
帳票は、自治体ごとにレイアウトが異なるため、本テンプレートをもとに、
お客様が実際に使用する帳票に合わせてカスタマイズを行い、ご活用ください。
本定義を使用することで、簡単かつ短時間で書式定義を作成することが可能です。

本書では、お客様が本定義を活用して OCR を行うまでの各手順について説明します。
詳細な手順や設定方法は、本書には記載しないため、別途製品マニュアルを参照してください。

<手順>



1. 対象帳票

「自治体テンプレート定義」は、以下の10種類を対象に提供します。

本書では、以降「No.1 軽自動車税申告書」を例に説明します。

No	対象帳票名	書式定義名
1	軽自動車税申告書	軽自動車税申告書.DDF
2	給与所得者異動届書	給与所得者異動届書.DDF
3	法人税申告書	法人税申告書.DDF
4	口座振替依頼書	口座振替依頼書.DDF
5	心身障害医療費受給申請書	心身障害医療費受給交付申請書.DDF
6		心身障害医療費申出書.DDF
7	給付金認定申請書	給付金認定申請書_1.DDF
8		給付金認定申請書_2.DDF
9	介護保険申請書	介護保険申請書.DDF
10	通勤届	通勤届.DDF

【例】 軽自動車税申告書

読取位置：

2. 書式定義の使用方法

「自治体テンプレート定義」は、以下 2 種類の使用方法を想定しています。
以降、順に操作手順を説明します。

①書式定義の動作確認

書式定義、サンプル帳票を使用して、帳票認識の流れを確認することができます。

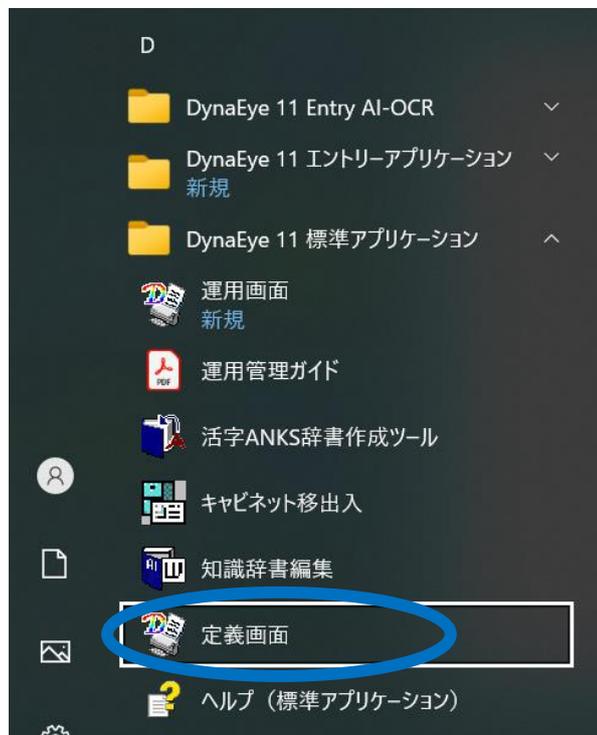
②書式定義をお客様帳票に合わせてカスタマイズ

お客様の帳票に合わせてカスタマイズし、業務で利用することができます。
帳票画像を差し替えた後、読取位置の調整や読取設定を修正いただけます。

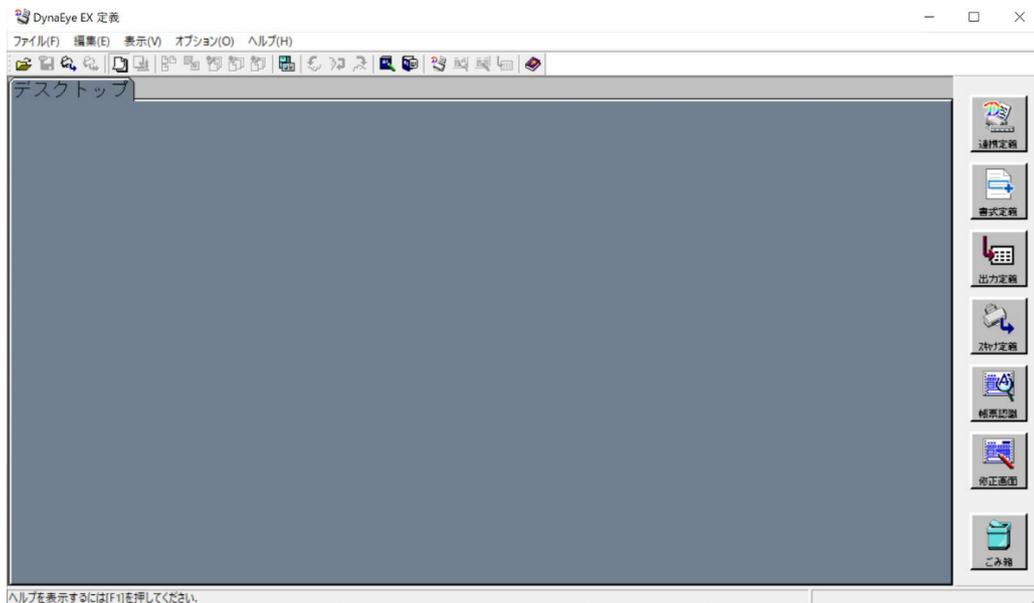
2.1. 書式定義の動作確認

(1) スタートメニューのアプリの一覧から、以下を選択します。

- ・ Entry 製品の場合 : [DynaEye 11 標準アプリケーション] - [定義画面]
- ・ SDK 製品の場合 : [DynaEye 11 書式認識ライブラリ] - [書式定義ツール]



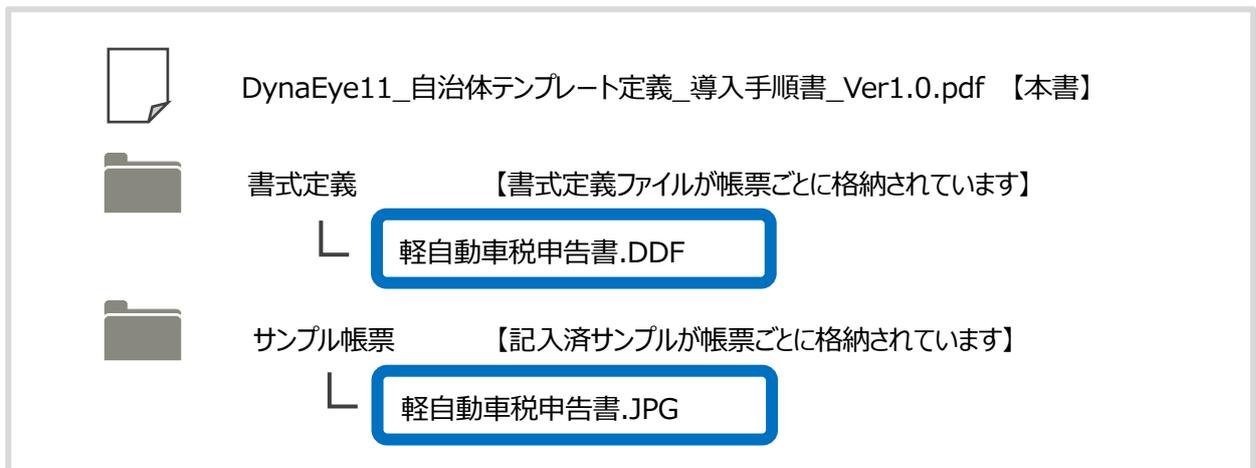
※誤って[運用画面]を選択しないようにしてください。



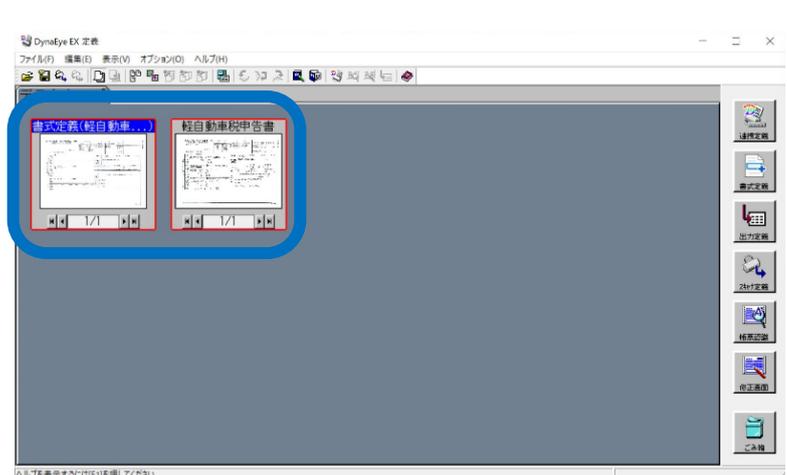
⇒ 標準アプリケーションの画面が開きます。

(2) エクスプローラーで、書式定義ファイルとサンプル帳票(軽自動車税申告書.DDF、軽自動車税申告書.JPG) をドラッグし、標準アプリケーションの画面上でドロップします。

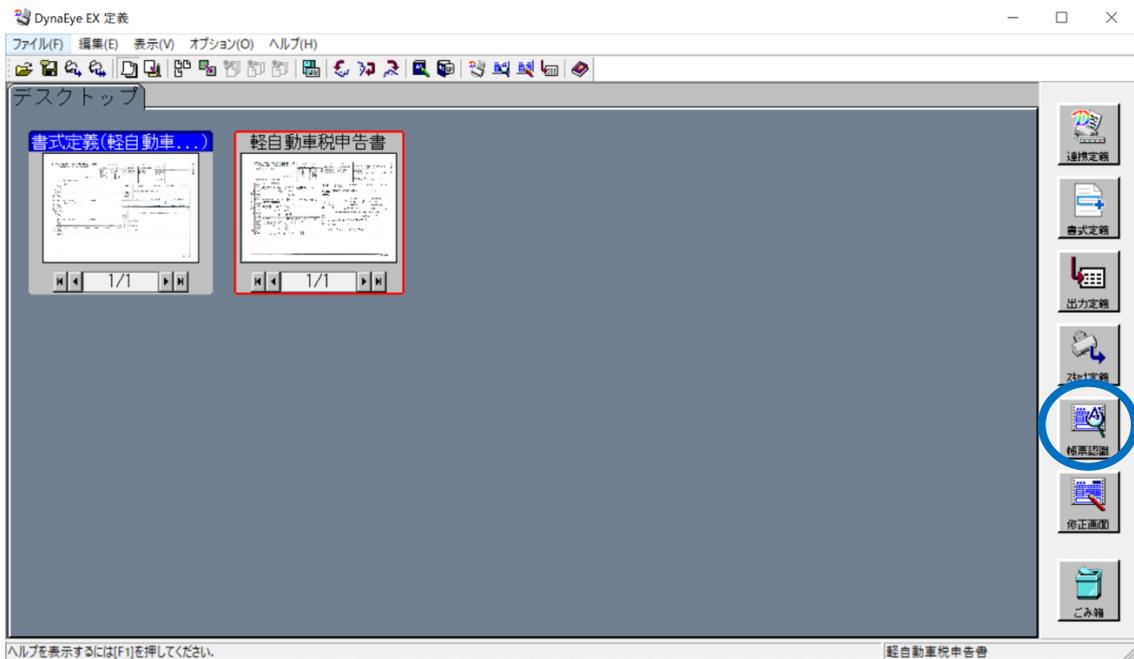
<ダウンロードデータ>



フォルダ内のファイルを
ドラッグ&ドロップして取込み
※フォルダは指定できません

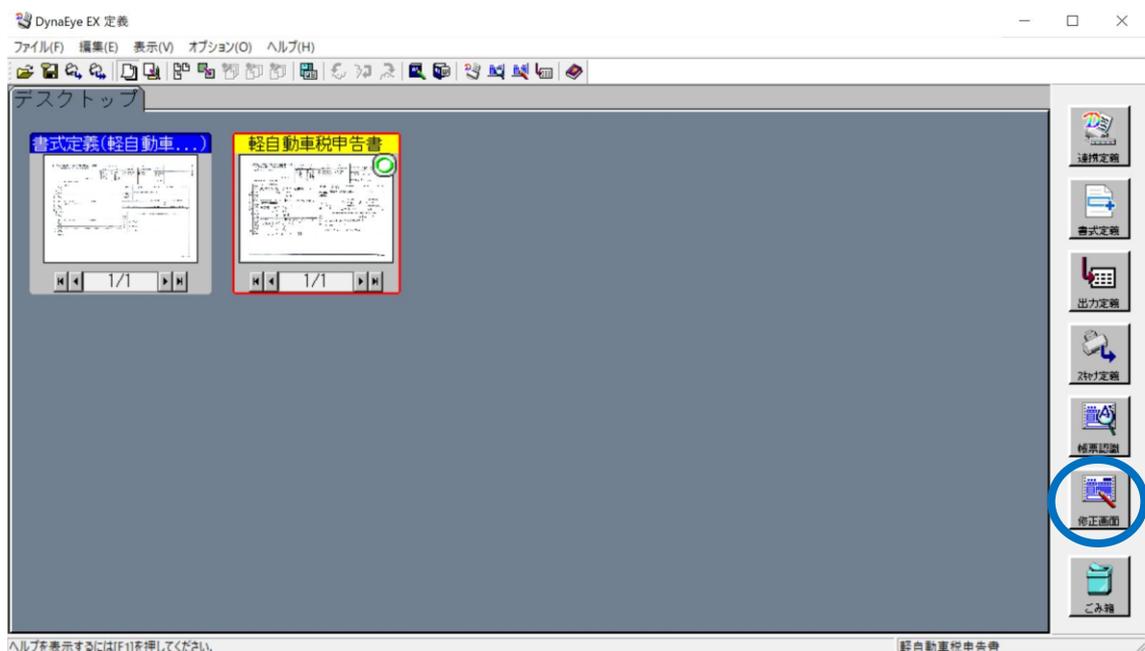


(3) 「軽自動車税申告書」のイメージデータを選択し、[帳票認識]ボタンを押下します。



⇒ 「軽自動車税申告書」のデータを帳票認識します。

(4) 帳票認識完了後、[修正画面]ボタンを押下します。



(5) 認識結果の確認を行います。

DynaEye EX - 軽自動車税申告書 - 軽自動車税申告書 - 修正画面

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 知識(A) オプション(O) ヘルプ(H)

修正モード: 全修正 認識注意文字数: 0000 論理エラー数: 000 ナンバリングID:

所有者郵便番号
8 4 4 7 5 3 4

所有者郵便番号
8 4 4 - 7 5 3 4 西 1 - 5

イノウエタカコ
所有者氏名
井上高子
所有者生年月日マーク
明
所有者生年月日
4年3月7日
所有者電話番号
030-4813-4855
使用者郵便番号

市町村長 殿
その他

り申告(報告)及び申請します。

〒844-7534
福岡県築紫郡那珂町片縄西1-5
イノウエ タカコ
井上 高子
明・大・昭・平・令 4年3月7日 電話番号 030-4813-4
〒386-2544
東京都台東区千駄木3-4
コバヤシ トモコ
小杉 智子
明・大・昭・平・令 4年7月5日 電話番号 050-3393-4
大阪府松原市二空4-7

8 2 9 3 6 4 5 0 〒

一般(全) 12項目 1桁 8447534

ヘルプを表示するには[F1]を押してください。

上書き

⇒「軽自動車税申告書」の帳票認識結果を確認し、誤読文字を修正します。
確認完了後、画面左上の[上書き保存]ボタンを押下し、画面を閉じます。

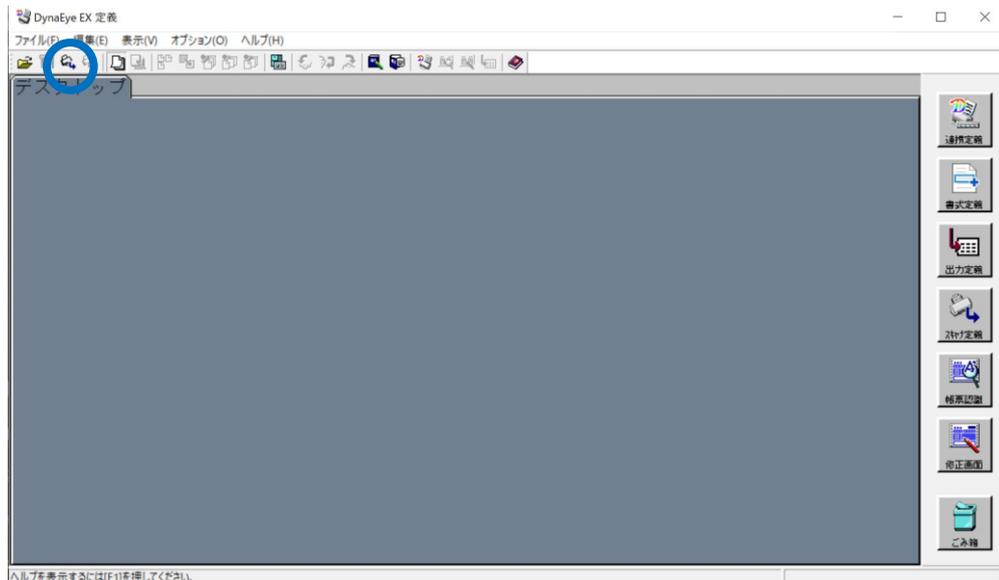
確認した認識結果は、CSV形式でファイル出力することが可能です。
認識結果の出力手順は、製品マニュアルの「第11章 認識データ出力定義」「第22章 認識データの出力」を参照してください。

2.2. 書式定義をお客様帳票に合わせてカスタマイズ

(1) 未記入のイメージデータを準備します。

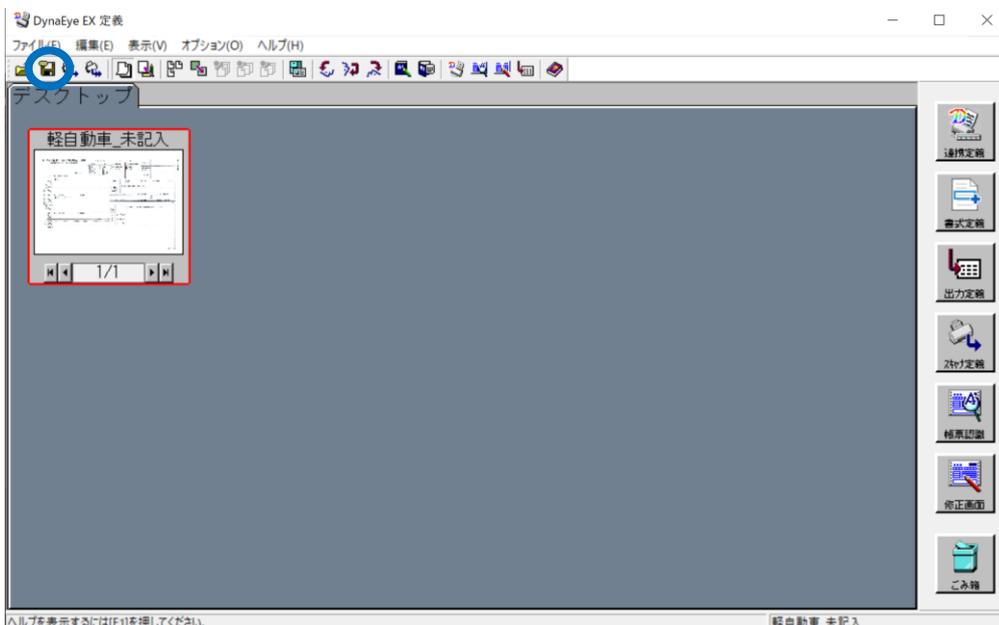
(1-1) ツールバーの[新規スキャナ読取り] ボタンを押下し、お客様の帳票（未記入）をスキャナーで読み取ります。

手順の詳細は、製品マニュアルの「第 19 章 スキャナ読取り」を参照してください。



(1-2) ツールバーの[名前を付けて保存]ボタンを押下し、スキャンした画像を任意のフォルダに保存します。

手順の詳細は、製品マニュアルの「第 18 章 18.2 イメージデータの保存」を参照してください。

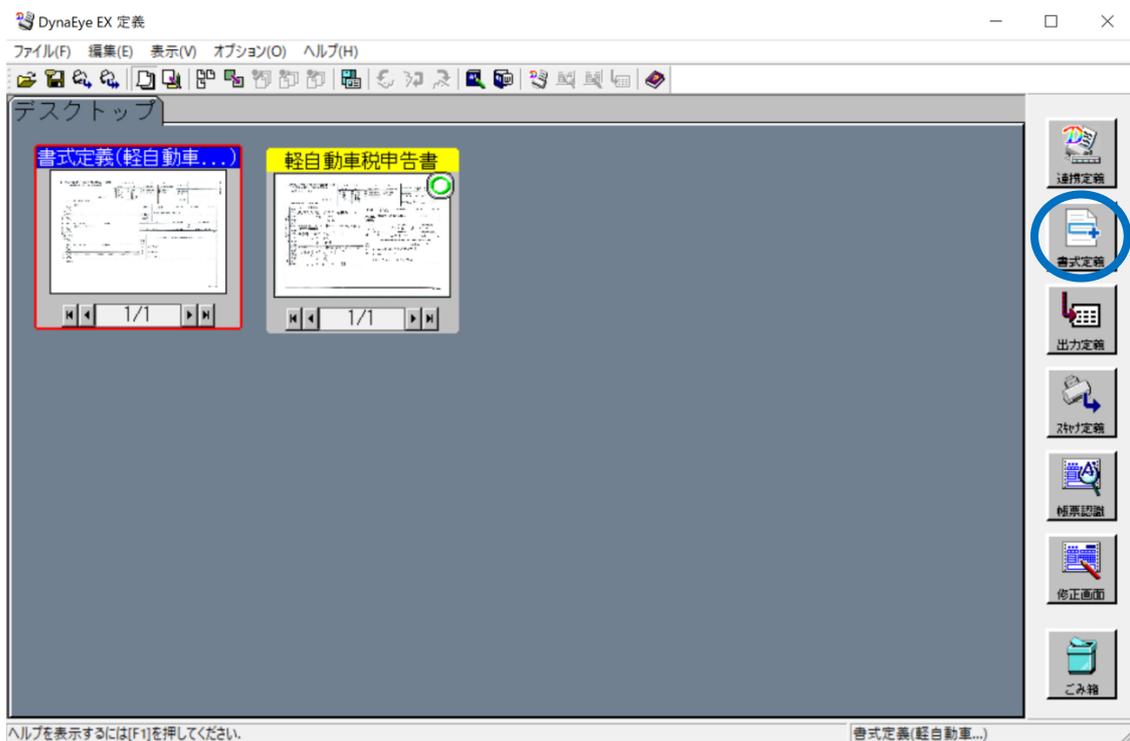


イメージデータ保存時のファイル形式は、以下としてください。

- ・カラー画像 : JPEG 形式
 - ・白黒画像 : TIFF 形式
- (※カラー帳票、解像度 300dpi が推奨)

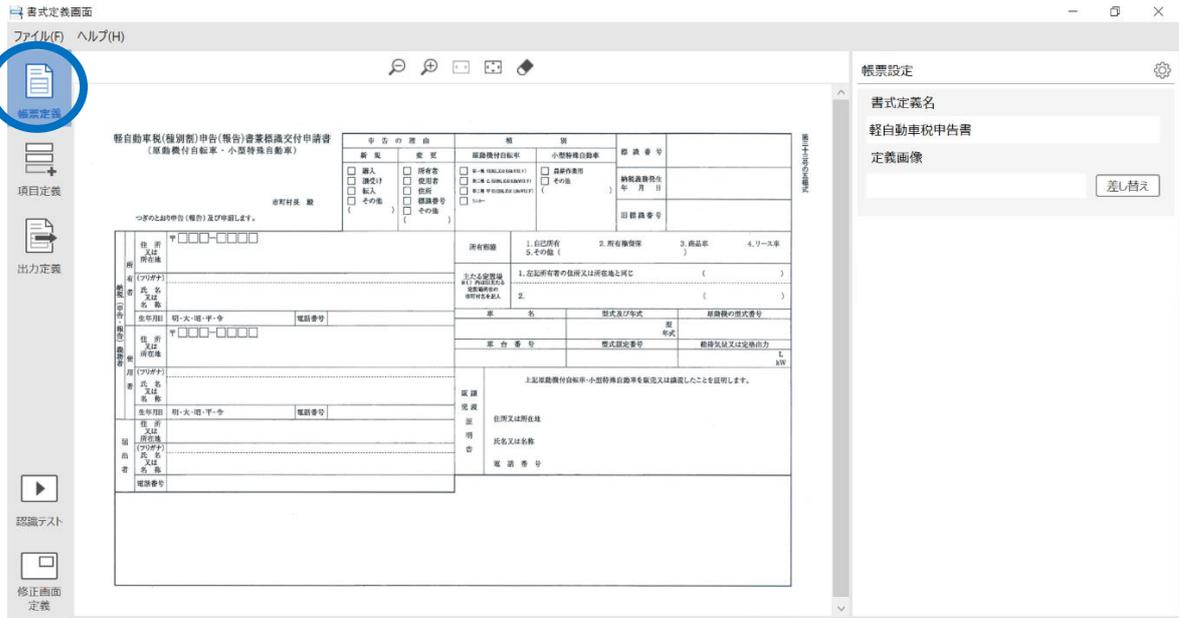
※以降の手順は、2.1 書式定義の動作確認を実施済みである前提で記載します。

(2) 「軽自動車税申告書」の書式定義データを選択し、[書式定義]ボタンを押下します。

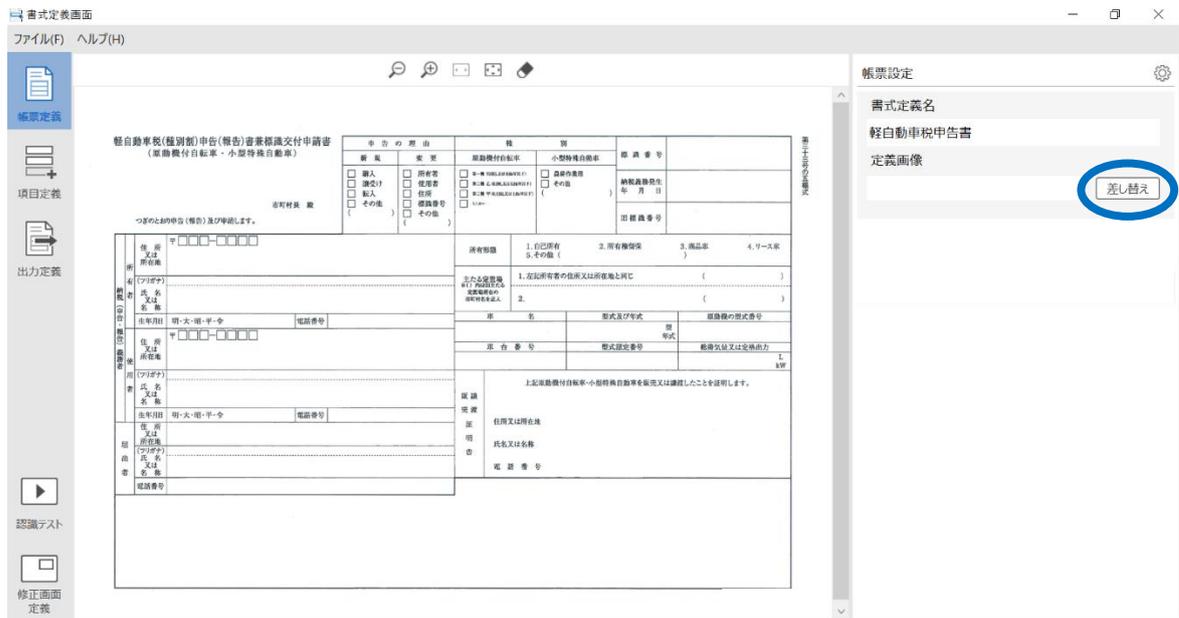


⇒ 画面に書式定義画面が表示されます。

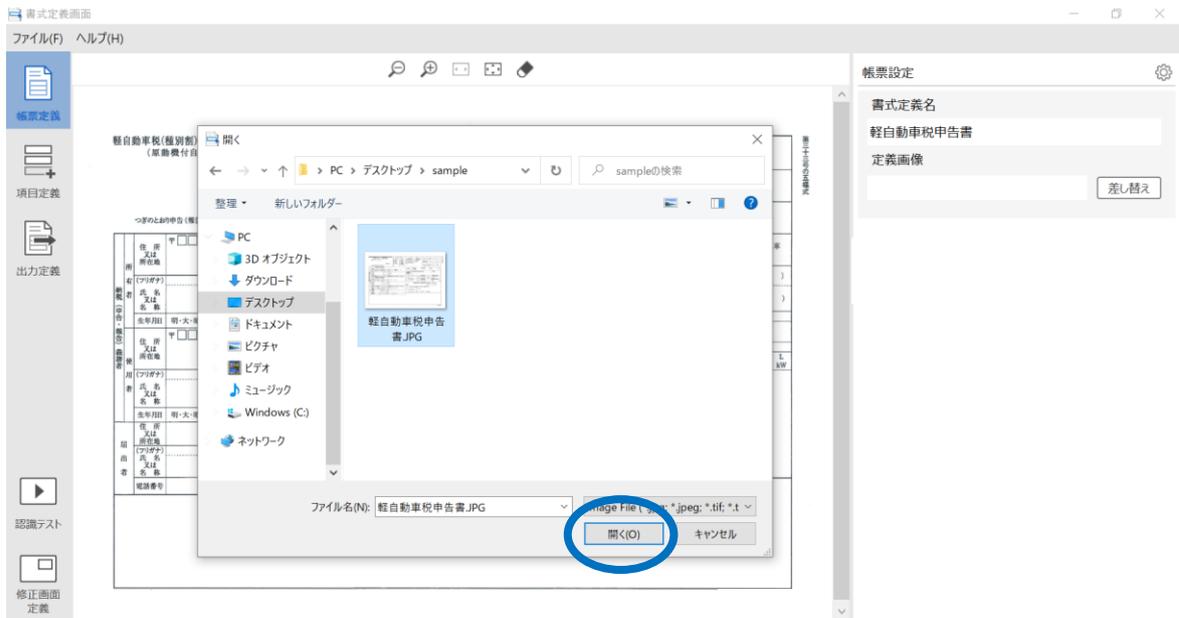
(3) 画面左側のナビゲーションバーの[帳票定義]ボタンを押下します。



(4) 画面右側の[差し替え]ボタンを押下します。

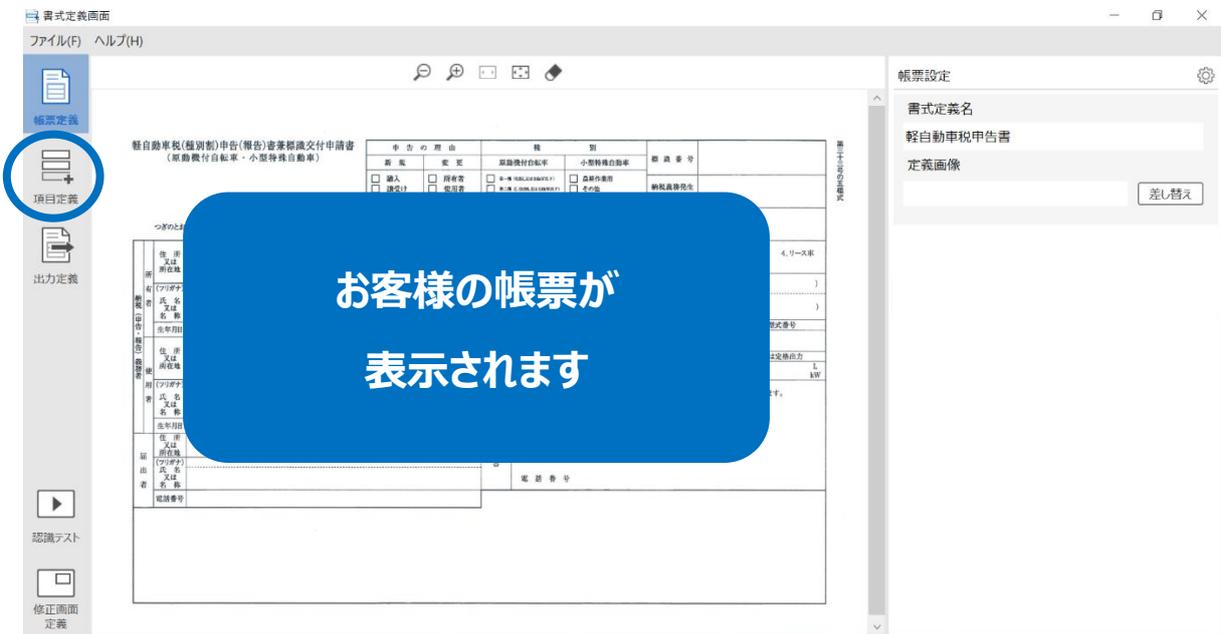


(5) 手順(1)で準備したイメージデータを選択し、[開く]ボタンを押下します。



⇒ 画面に表示されるイメージデータがお客様の帳票に切り替わります。

(6) 画面左側のナビゲーションバーの[項目定義]ボタンを押下します。



(7) お客様の帳票に合わせて変更します。

※必要に応じて、項目の設定見直しも行ってください(詳細はマニュアル参照)。



<項目の調整方法>

以下の①~⑥を行います。

- ①項目の位置変更
- ②項目のサイズ変更
- ③項目の設定変更
- ④不要な項目の削除
- ⑤必要な項目の追加
- ⑥詳細設定の追加

本書では、以下に①②の方法を記載します。

③~⑥については、製品マニュアル「第8章 8.6 項目定義」を参照してください。

(1)対象項目を選択

対象	操作方法
1項目を選択	画像表示上で対象項目をクリック 
複数選択	Ctrl キーを押しながら画像表示上で対象項目をクリック
範囲選択	項目を一つ選択した後、 Shift キーを押しながら、次の項目を選択
すべて選択	画像表示上で対象項目をクリックした後に「Ctrl + A」キー

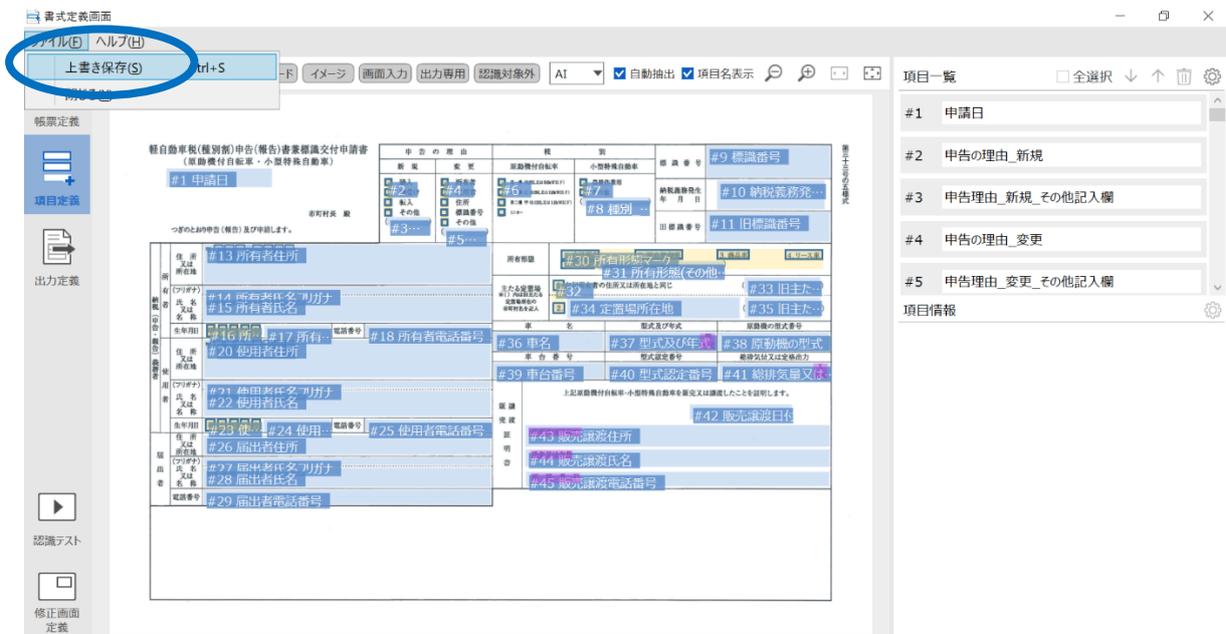
(2) 読取項目の位置変更

対象	操作方法
大きく移動	選択状態でドラッグ&ドロップ
小さく移動	方向キー(↑ ↓ → ←) ※微調整したい場合

(3) 読取項目のサイズ変更

対象	操作方法
サイズ変更	対象項目の端にカーソルを合わせてドラッグ&ドロップ 

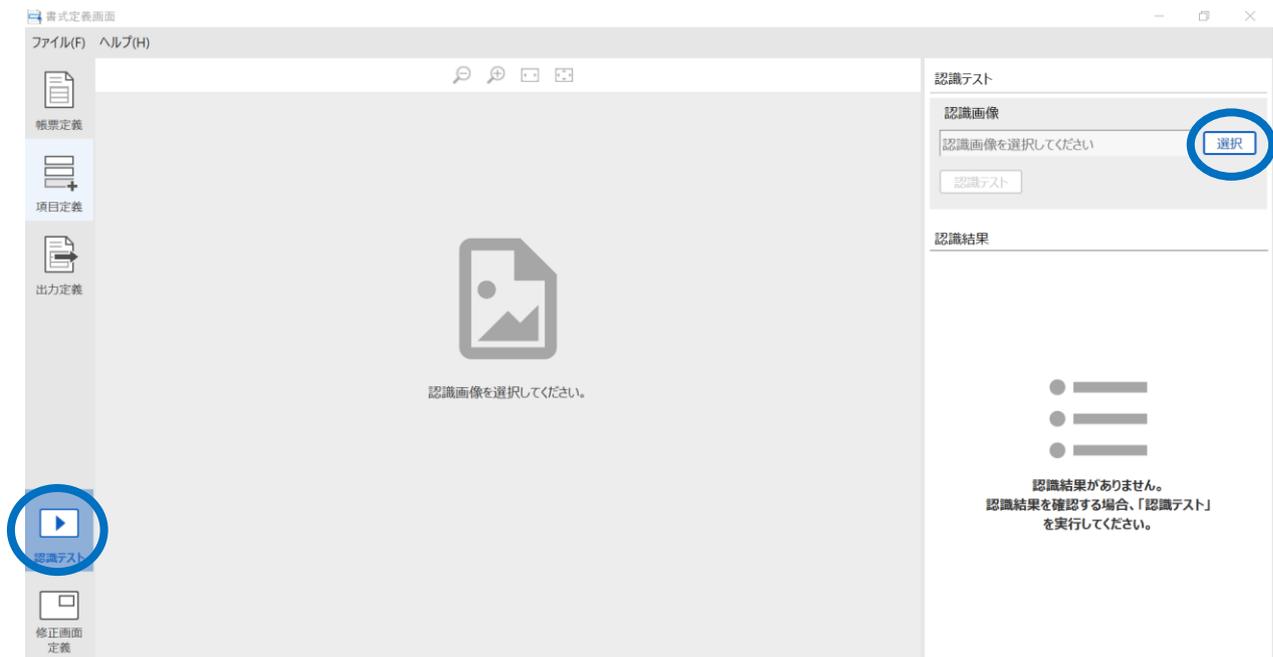
(8) すべて完了した後、ファイルメニューから[上書き保存]を選択します。



[出力定義]ボタンを押下することで、認識結果をファイルに出力する場合の設定を行うことができます。必要に応じて設定してください。

詳細は製品マニュアルの「第8章 8.7 出力定義」を参照してください。

(9) 画面左側のナビゲーションバーの[認識テスト]ボタンを押下し、画面右側の[認識画像]欄の[選択]ボタンを押下します。



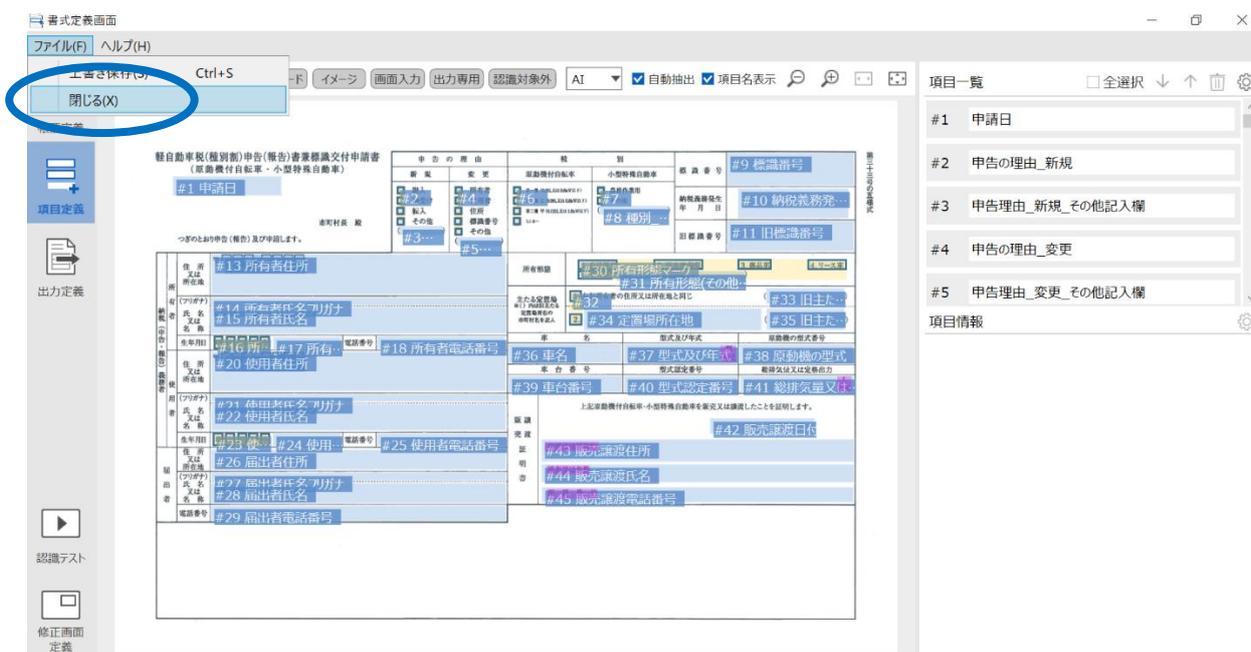
⇒ お客様帳票に合わせてカスタマイズした書式定義での認識結果を確認できます。
 手順(1)で準備した帳票の記入済みの帳票がある場合、その画像を選択してください。
 記入済み帳票がない場合、(9)(10)は飛ばして(11)に進んでください。

(10) [認識テスト]ボタンを押下し、認識結果の確認を行ってください。



⇒ 上書き保存後、作成した書式定義の動作確認を行うことができます。

(11) ファイルメニューから[閉じる]を選択して、書式定義を終了します。



(12) 書式定義の作成は完了です。

以降の手順は「2.1.書式定義の動作確認」の(3)～(5)を参照してください。

※ 記入済のお客様帳票のスキャンを行う場合は、「2.2. 書式定義をお客様帳票に
合わせてカスタマイズ」の(1)を参考にしてください。

以上